

デンマーク・デザインは、20世紀を通して洗練されてきました。現在のデザイナーたちは、伝統を受け継ぎながら、時代の要請に応えたデザインを生み出し続けています。例えば使用済みペットボトルから作られた新素材への着目など、新しい技術の導入や環境への配慮は、現在のデンマーク・デザインの特徴の一つと言えます。本章では、世界で活躍するデザイナーらによる、デンマーク・デザインの今を紹介します。

● 文様を大胆に配置した「ブルーフルーテッド」の新たなシリーズ

● デンマークのデザイナー trio「KiBISI」による都市名を冠した自転車

● 使用済みペットボトルから作られた素材のみで出来た椅子



1.



2.



3.

1. カーアン・ケルゴール＝ラース 皿(ブルーフルーテッド メガ) 2000年 ロイヤルコペンハーゲン デンマーク・デザイン博物館 photo: Royal Copenhagen 2. キビスイ 自転車(PEK) 2015年 ビオミーガ デンマーク・デザイン博物館 photo: Biomega 3. コンプロト・デザイン(ボリス・ベルリン/ボウル・クレスチャンソン) 椅子(リトル・ノーバディ) 2007年 ヘイ デンマーク・デザイン博物館 photo: HAY

## 関連イベント

デンマーク・デザインを楽しめる、多彩なイベントを開催予定!

### 1. デンマーク・デザインの魅力 I 一家具

#### 講演会「デンマーク名作家具との出会い—知の発見、再生へ—」

日本で唯一、デンマーク名作家具のライセンス生産を行うキタニ。この製品を企画・販売するキタニジャパンの代表取締役社長である東氏をお招きし、「つくり手」の視点からデンマーク家具の魅力や、フィン・ユール邸の再現プロジェクトをご紹介します。

日時:9月23日(土・祝)14:00~15:30(開場13:30)

講師:東庄豪氏(株式会社キタニジャパン 代表取締役社長/  
NPO法人フィン・ユール アート・ミュージアムクラブ 理事長)

会場:当館多目的室 参加料:無料

定員:70名(応募多数の場合は抽選)

申込締切:9月8日(金)必着

### 2. デンマーク・デザインの魅力 II 一陶磁器

#### 講演会「ロイヤルコペンハーゲン ピングオーグレンダール」

アール・ヌーヴォー磁器など、国内有数の陶磁器コレクターとして知られる塩川氏に、国際的な評価を得た最初のデンマーク・デザインである2大陶磁器ブランドの魅力をお話しします。

日時:10月22日(日)14:00~15:30(開場13:30)

講師:塩川博義氏(陶磁器コレクター)

会場:当館多目的室 参加料:無料

定員:70名(応募多数の場合は抽選)

申込締切:10月6日(金)必着

※その他、担当学芸員によるギャラリートーク、未就学児向け定例アートプログラム「しずびチビッコプログラム」を実施

[1, 2, 3申込方法]

当館HP申込フォーム(www.shizubi.jp)または往復はがきにて。1件につき4名様まで。3は2名様まで。※往復はがき記載事項①催事名、催事日②氏名(参加人数分)③年齢④住所(郵便番号から)⑤電話番号、返信面に宛先を記入の上、静岡市美術館まで。※抽選の如何にかかわらず結果は通知致します。

### 3. レゴ®ブロックでつくった車を走らせよう!

レゴ社の教育プログラムを体験できるワークショップ。誰よりも速くまで走るオリジナルカーに改造することで、エネルギーについて考えます。完成後はみんなでレースをしよう!

日時:10月8日(日)①13:00~ ②15:30~(各回約90分)

講師:レゴ社認定 レゴ®スクールインストラクター

会場:当館多目的室

参加料:1組につき1,700円(キット代含む)※キットは持ち帰れます

対象:①②とも小学生とその保護者20組40人(応募多数の場合は抽選)

申込締切:9月22日(金)必着

企画協力:レゴ®スクール 六本木ヒルズ

### まだまだある、展覧会のたのしみ方

#### ● レゴ®ソフトであそぼう!

レゴ®ブロックの中で一番大きなレゴ®ソフトが会場に登場! 柔らかく安全な素材のため、小さなお子様も安心してあそびを体験できます。展覧会鑑賞とあわせてレゴ®ソフトの世界をお楽しみください。※詳細は展覧会チラシ、HPを参照

#### ● “ヒュゲ”な写真でプレゼント!

“ヒュゲ(Hygge)”とは、デンマーク語で居心地の良い時間や空間を意味する言葉。デンマークの人々の幸せの秘訣として近年注目されています。ほっこりする、小さな幸せを感じる...そんな“ヒュゲ”な瞬間を写真に撮って教えてください。写真をご提示いただいた方先着300名に展覧会オリジナルグッズ(オクシズ材ヒノキのコースター)をプレゼント! ※有料観覧の方に限ります。 協力:静岡木材業協同組合

#### ● ウェグナーの椅子にすわろう!

展示室内にはハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]がデザインした椅子5脚に座れるコーナーも!あわせてお試しください。 \ 撮影OK!

日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念

# DENMARK:DESIGN デンマーク・デザイン

2017年9月9日(土)~11月12日(日)



1.



2.



6.



3.



4.



5.

1. ポウル・ヘニングスン ペンダント・ランプ (PH コントラスト) 1958-1962年 ルイス・ポールセン 個人蔵 photo: Michael Whiteway 2. アーネ・ヤコブソン [アルネ・ヤコブソン] 椅子 モデル3100 (アントチェア) 1952年 フリッツ・ハンセン 個人蔵 photo: Michael Whiteway 3. アーネ・ヤコブソン [アルネ・ヤコブソン] 1902-1971年 射掛椅子 (エッグチェア) 1958年 [1965年頃制作] フリッツ・ハンセン 個人蔵 photo: Michael Whiteway 4. カイ・ボイソ 玩具 (サル) 1951年 カイ・ボイソ 個人蔵 photo: Michael Whiteway 5. ヘニング・コペル ピッチャー no. 992 1952年 ジョージ・ジェンセン ジョージ・ジェンセン A/S photo: George Jensen 6. カーアン・ケルゴール＝ラース 皿 (ブルーフルーテッド メガ) 2000年 ロイヤルコペンハーゲン デンマーク・デザイン博物館 photo: Royal Copenhagen

【プレスリリースのお問い合わせ】

展覧会担当: 森谷・安岡

広報担当: 岩倉・大庭

静岡市美術館

〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3F

SHIZUOKA CITY MUSEUM of ART tel. 054-273-1515 (代表) fax. 054-273-1518 www.shizubi.jp

# デンマーク・デザイン

シンプルで美しい、世界一幸せな国の暮らしのかたち

- 会 期：2017年9月9日(土)～11月12日(日)【56日間】
- 休 館 日：毎週月曜日(ただし9月18日(月・祝)、10月9日(月・祝)は開館) 9月19日(火)、10月10日(火)
- 開館時間：10:00～19:00(入場は閉館の30分前まで)
- 観 覧 料：一般1,200(1,000)円、大高生・70歳以上800(600)円、中学生以下無料

\* ( )内は前売りおよび当日に限り20名以上の団体料金  
 \* 障害者手帳等をご持参の方および介助に必要な方は無料

毎週木・土曜日はトークフリーデー!

■前売券：7月25日(火)から9月8日(金)まで販売  
 静岡市美術館、チケットぴあ[Pコード768-389]、ローソンチケット[Lコード42778]、セブンチケット[セブンコード055-162]、谷島屋マークイズ静岡店、戸田書店静岡本店、戸田書店城北店、MARUZEN & ジュンク堂書店新静岡店

■主催等  
 主催：静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、静岡朝日テレビ、日本経済新聞社  
 後援：デンマーク大使館、静岡市教育委員会、静岡県教育委員会  
 展示協力：PP Mobler ApS, Kvadrat A/S 企画協力：株式会社ブレントラスト 静岡展特別協力：静岡木材業協同組合  
 This exhibition is curated by Designmuseum Danmark and Michael & Mariko Whiteway.



北欧諸国の一つであるデンマークは、九州ほどの国土に約570万人が住む小さな国です。気候は比較的穏やかで、標高が最も高いところで約170mと、起伏の無いなだらかな地形が特徴です。また、国連が毎年発表する国民の幸福度ランキングでは常に上位を保持し、2016年度は1位を獲得するなど、福祉国家としても知られています。

何よりデンマークは、世界に誇るデザイン大国です。1920-30年代、政府はかつてない規模でデザインに投資し、集合住宅のほか、学校、市庁舎や図書館などの公共建築の整備を行いました。その内部空間は洗練されたデザインで統一され、今日にまで受け継がれています。デンマークの人々の暮らしは何世代にもわたり、優れたデザインと共にあると言えます。

本展は、デンマーク・デザイン博物館の協力のもと、デンマークの近代から現代までのデザイン史を約200点の作品で辿る、日本初の展覧会です。アーネ・ヤコブソン[アルネ・ヤコブセン]、ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]、フィン・ユールなどの家具、ポール・ヘニングソンの照明器具等のほか、ロイヤル コペンハーゲンの食器、世界中で親しまれているレゴブロックや、バング&オルフセンの音響機器など、デンマーク・デザインの数々を紹介し、その魅力に迫ります。

## 本展の見どころ

- 1. デンマーク・デザインに特化した、日本で初めての展覧会。**  
2017年はデンマークと日本が外交関係を樹立して150周年となる年。これを記念し、これまで北欧デザインの粋組みの中で紹介されてきたデンマーク・デザインを、近代から現代までの通史として約200点で辿る本格的な内容です。
- 2. 誰もが一度は目にしたことのある、デンマーク・デザインの名作が勢ぞろい。**  
デンマークが生んだ陶磁器ブランド、ロイヤル コペンハーゲンから、ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]やアーネ・ヤコブソン[アルネ・ヤコブセン]の椅子、ポール・ヘニングソンの照明器具をはじめ、世界中で親しまれるレゴブロックのほか、自転車や掃除機まで、あらゆるデンマーク・デザインを紹介します。
- 3. 大人から子どもまで楽しめる、多彩な企画がいっぱい。**  
会期中、デンマーク・デザインの魅力を紹介する大人向け講演会や子ども向けワークショップを実施。ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー]の椅子に座れるコーナーや、レゴであそべるスペースなども用意。家族でたのしめる展覧会です。

## ● 彫刻的とも評される、酋長の椅子(チーフデンチェア)



Finn JUHL (1912 -1989)



建築家。自邸の建築設計の他、家具職人ニルス・ヴォザと協働し、彫刻的なフレームが特徴的な椅子類を手掛ける。



## ● シューカーチェアに想を得た「国民のための椅子」



Borge MOGENSEN (1914 -1972)



建築家。家具職人の見習い後、コーオ・クリントに師事。FDB(デンマーク生活協同組合連合会)で一般庶民に向けた椅子なども手掛ける。



1. フィン・ユール 椅子(チーフデンチェア) 1949年 ニルス・ロート・アナスン デンマーク・デザイン博物館 photo: Designmuseum Danmark / Pernille Klemp 2. フィン・ユール 椅子 photo: Designmuseum Danmark 3. フィン・ユール 椅子 photo: One Collection 4. バアウ・モーウソン 椅子 J39 1947年 デンマーク生活協同組合連合会 個人蔵 photo: Michael Whiteway 5. バアウ・モーウソン 椅子 photo: Fredericia Furniture 6. バアウ・モーウソン 肘掛椅子 モデル2225 1967年 フレデリシア・ファニチャー 個人蔵 photo: Michael Whiteway

## 参考：デンマーク・デザインの巨匠らが研究した代表的な古典椅子

### ● 明代の椅子

中国・明代(1368-1644)は、庶民の間でも椅子に座る生活が定着した時代。方形の座を四本脚で支え、装飾を抑えたシンプルな形状を特徴とする。チッペンデル様式等に強い影響を与えたほか、ヴィーイナの(Y-チェア)〈ザ・チェア〉等にも影響が見られる。

### ● シューカーチェア

イギリス、シューカー教徒がアメリカに移住後、自給自足の生活の中で1770年代後半から自ら作り始めた。曲線がほとんどなく直線で構成され、機能的かつ簡素化されたフォルムと軽量な点が特徴。モーウソンが手掛けた椅子J39などは、シューカーチェアに影響を受けたもの。

### ● ウィンザーチェア

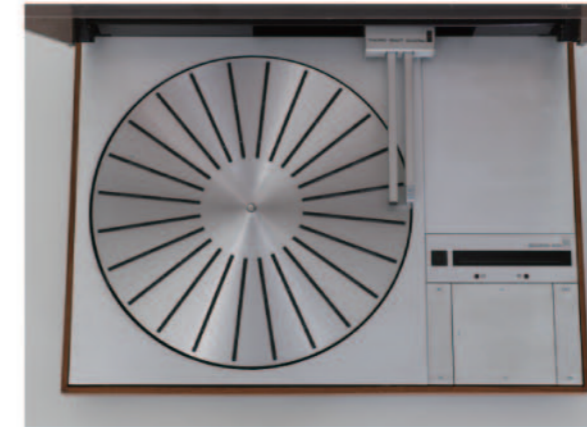
17世紀後半頃よりイギリスのほか、ヨーロッパ各地で使用された農民等の椅子が原点で、ウィンザー地方等で普及した。丸棒状に加工した部材を縦に平衡に並べた背もたれや、複数の樹種が用いられる点が特徴。ヴィーイナの〈ビーコックチェア〉はウィンザーチェアに影響を受けたもの。

## ● その他にも、デンマークデザインの名作がいっぱい!

### ● 一枚のプラスチック板で出来た世界で初めての椅子



### ● ニューヨーク近代美術館にも収蔵される、洗練されたデザインのレコードプレーヤー



### ● 72枚のシェードにより良質な光が生み出されるヘニングソンの代表作



### ● 50年以上前から形が変わらない(レゴブロック)



### ● 現在も生産される可動式の木製玩具の人気シリーズ



### ● 有機的な曲線が美しいピッチャー



1. ヴェアナ・バントン 椅子(バントンチェア) 1967年[1976年制作] ハーマンミラー 個人蔵 photo: Michael Whiteway 2. ヤコブ・イェンセン レコードプレーヤー(ベオグラム4000) 1972年 バング&オルフセン 個人蔵 photo: Michael Whiteway 3. ポウル・ヘニングソン ペンダント・ランプ(PHアーティチョーク) 1957年 ルイス・ポールセン 個人蔵 photo: Michael Whiteway 4. オーレ・キアク・クレスチャンソン 無限連結式ブロック玩具(レゴブロック) 1960年頃 レゴ 個人蔵 photo: Michael Whiteway 5. カイ・ポイイソン 玩具(サル) 1951年 カイ・ポイイソン 個人蔵 photo: Michael Whiteway 6. ヘニング・コベル ピッチャー no.992 1952年 ジョージ・ジェンセン ジョージ・ジェンセンA/S photo: George Jensen

## デンマーク(デンマーク王国)基礎データ

- 1.人口・・・5,707,251人※2016年現在
- 2.言語・・・デンマーク語
- 3.社会制度・・・所得税率は平均50%、年金受給者30%、高所得者で最高70%と高額なものの、生活保障が手厚く、国民の満足度は高い
- 4.教育制度・・・福祉システムの一部として、大学まですべて無料
- 5.医療制度・・・医療費は無料。難病治療、手術費用なども一切掛からない  
高齢者の介護、在宅支援サービスも殆ど無料



## 第1章 国際的評価を得た最初のデンマーク・デザイン

出品作品  
32点

デンマーク・デザインが確立される1900年代以前、ロイヤル コペンハーゲンの陶磁器は世界の注目を集めました。日本美術の影響を受けたアール・ヌーヴォー様式の作品は、1889年、1900年のパリ万国博覧会で人気を博します。同じくデンマークの陶磁器ブランドのピング オー グレンダールも彫塑的要素の強い作品で個性を示します。この両窯は、新しい磁器表現の先駆者として世界に大きな影響を与えました。本章では、現在も生産されるロイヤル コペンハーゲンの最初期シリーズをはじめ、デンマークが誇る2大陶磁器ブランドの作品を紹介します。

### ● ロイヤル コペンハーゲン〈ブルーフルーテッド〉最初期の作品



1.

### ● ピング オー グレンダール〈鷺のサービス〉



2.



3.



4.



5.

1. 皿〈ブルーフルーテッド〉 [1785年頃制作] ロイヤル コペンハーゲン 塩川コレクション 2. ピートロ・クローン ソース入〈鷺のサービス〉 [1898-1915年制作] ピング オー グレンダール 塩川コレクション  
3. アーノル・クローウ カップ&ソーサー〈マーガレットサービス〉 [1902-1922年制作] ロイヤル コペンハーゲン 塩川コレクション 4. カップ&ソーサー〈ブルーフルーテッド〉 左[1906-1913年制作]  
右[1902-1922年制作] 奥[1903-1922年制作] ロイヤル コペンハーゲン 塩川コレクション 5. アーノル・クローウ 記念プレート1888 [1888年制作] ロイヤル コペンハーゲン 塩川コレクション

### ■ ロイヤル コペンハーゲン

1775年開窯。1779年に王立磁器製作所となり〈ブルーフルーテッド〉〈ブルーフラワー〉のシリーズを発表。1885年にはアーノル・クローウを芸術主任に迎え入れ、釉下彩の技術を研究。日本美術の影響を色濃く受けた釉下彩の絵付けによるスタイルで、陶磁器におけるアール・ヌーヴォー様式を牽引する。現在も続く世界的な陶磁器ブランド。

### ■ ピング オー グレンダール

1853年開窯。1885年にピートロ・クローウを芸術主任に迎え入れ、釉下彩による〈鷺のサービス〉など、日本美術の影響を受けたモチーフによる彫塑的要素の強い作品を発表。19世紀末から20世紀初めに世界の陶磁器シーンで圧倒的な存在感を示した。1987年にロイヤル コペンハーゲンと合併する。

## 第2章 古典主義から機能主義へ

出品作品  
19点

コーオ・クリント(1888-1954)は、王立美術アカデミー建築学科家具専攻科を創設し、1920年代より国内で初めて体系的な家具デザインの教育を行った建築家です。デンマーク近代デザインの父と称され、多くの家具デザイナーに影響を与えました。クリントは、中国やイギリスなどの古典家具の研究を重んじました。また、人体の採寸に取り組み家具の使用方法に着眼するなど、人間工学の先駆けとも言える理論を確立します。本章では、コーオ・クリントのほか、その弟子モーウンス・コク等による、デンマーク近代デザインの幕開けを飾った椅子や照明器具などのデザインを紹介します。

● クリントに家具の古典研究を指南した師ヨハン・ローゼの洗練されたピッチャー

● イギリスの古典家具、チッペンデールチェア研究に基づいたクリントの椅子



1.



2.



3.

若きアーネ・ヤコブソン[ヤコブセン]がデザインした貴重なテキスタイルも出品!

1. ヨハン・ローゼ ピッチャー no. 432 1920年 [1933-1944年制作] ジョージ ジェンセン 個人蔵 2. コーオ・クリント 椅子 KK37580(レッドチェア) 1927年 ルド・ラスムッセン工房 デンマーク・デザイン博物館 photo: Designmuseum Danmark/ Pernille Klemp 3. アーネ・ヤコブソン[アルネ・ヤコブセン] テキスタイル(レモン) 1948年以前 テクステイル=ラスン ビスコース織物 個人蔵 photo: Michael Whiteway

## 第3章 オーガニック・モダニズムーデンマーク・デザインの国際化

出品作品  
107点

1950年代、デンマーク・デザインは他の北欧諸国と共に黄金期を迎えます。世界の注目は、前時代の古典的で幾何学的な形態とは異なる、自然の造形美をとり入れた有機的なフォルムに集まります。アーネ・ヤコブソン[アルネ・ヤコブセン](1902-71)、ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー](1914-2007)やフィン・ユール(1912-89)らの「オーガニック・モダニズム」と呼ばれたデザインは、手仕事の良さと量産性のバランスを兼ね備え、遊び心や温かみに溢れていました。本章では、デンマーク・デザインの巨匠らが手掛けた家具類をはじめとする、デンマーク・デザインの数々を紹介します。

● ウィンザーチェアの系譜、孔雀の羽をイメージした〈ピーコックチェア〉

● 世界初、硬質発砲ウレタンを用いた〈エッグチェア〉



1.

**Hans WEGNER**  
(1914 -2007)



家具職人として出発し、生涯に500種類以上の椅子をデザイン。若い頃はアーネ・ヤコブソンの元で働き、バアウ・モーウンスンとも交流。



3.



4.

**Arne JACOBSEN**  
(1902 -1971)



建築家。SASロイヤルホテルの事例など、建築設計、椅子などの調度品やカトラリ類まで、あらゆるもののデザインを手がけた。



6.

1. ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー] 椅子 JH550(ピーコックチェア) 1947年 ヨハネス・ハンソン 個人蔵 photo: Michael Whiteway 2. ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー] photo: Designmuseum Danmark 3. ハンス・ヴィーイナ[ウェグナー] 椅子 CH24(ウィッシュボーンチェア/Y-チェア) 1950年 カール・ハンセン&サン 個人蔵 photo: Michael Whiteway 4. アーネ・ヤコブソン[アルネ・ヤコブセン] 肘掛椅子(エッグチェア) 1958年[1965年頃制作] フリッツ・ハンセン 個人蔵 photo: Michael Whiteway 5. アーネ・ヤコブソン[アルネ・ヤコブセン] photo: Rosendahl 6. アーネ・ヤコブソン[アルネ・ヤコブセン] 椅子 モデル3100(アントチェア) 1952年 フリッツ・ハンセン 個人蔵 photo: Michael Whiteway